

令和 8 年度第 1 回米子市児童文化センター運営委員会議事録

議事 1：令和 7 年度事業報告について

○事務局からの説明

- ・施設利用者数が前年度比 110%と増加した。特にクラブ参加者と図書室の利用者増加が目立った。
- ・米子市美術館と連携し、日本顕微鏡学会の「顕微鏡遺産」認定を記念する事業を実施した。また、プラネタリウムでは電子顕微鏡をテーマとした特別番組を上映した。
- ・新規事業や他団体との連携・協力により様々な事業を実施した。
- ・今後の取り組みについて、新たに Instagram アカウントを開設し、幅広い世代に向けた情報発信を強化していく。

○質疑応答・意見

(委員)

新規事業はどのように採用されているのか。

(事務局)

まずは利用者アンケートでの意見を参考にしている。その他で協力団体からの提案や職員からのアイデアの中から精査している。

(委員)

児童文化センターを利用していない人向けのアンケート調査の予定はあるか。

(事務局)

現時点で児童文化センターの事業として利用していない人へのアンケートの予定はない。他方で、市としてリニューアルに向けたアンケートを実施しており、その中で運営における意見があれば児童文化センターに共有していきたい。

(委員)

ブックスタートのボランティアなど、市民によるサポートが減少している懸念がある。潜在的なボランティアの掘り起こしをお願いしたい。

(事務局)

様々な活動がボランティアの皆様のおかげで成り立っている点は承知しており、意見を参考に今後の運営に活かしていきたい。

(委員)

第 3 クラブ室はどのように使用されているのか。

(事務局)

防音設備があるため、合唱等の音楽系クラブや、おはなし会の会場として使用している。

議事 2：令和 7 年度モニタリング結果について

○事務局からの説明

- ・施設の老朽化が進む中、限られた予算で適切な修繕や保守管理を行っている点を市として評価した。
- ・物価高騰や人件費（産休等の職員入れ替え等）の影響で事業収支に赤字が生じているが、令和 8 年度からの新指定管理期間では適切な指定管理料を設定している。

- ・委員に対し、モニタリングに係る第三者評価を依頼した。

議事 3：共創施設整備の検討状況について

○事務局からの説明

- ・共創施設整備における検討状況を報告した。
- ・全2回実施のワークショップやアンケートといった意見聴取の結果について報告した。

○委員からの意見・要望

- ・乳幼児から大学生まで、様々な世代が交流できる施設にしてほしい。
- ・子どもたちが遊びながら科学や物理の原理に気づき、それが将来の学びへと繋がるような施設づくりを希望する。
- ・一方的に大学側のメリット（学生の利用等）にならないよう、児童の健全育成という本来の目的を見失わずにしっかりと協議を進めてほしい。ソフト面（学生との交流など）での連携は推進すべき。
- ・プラネタリウムなどの貴重な体験ができる機能は残しつつ、e スポーツなど現代のニーズに合ったものを取り入れるなど、機能の取捨選択を行ってほしい。
- ・子どものための指導者養成などが実施できる会議室が少ないため、そのような会議室を導入してもよいのでは。
- ・事業が進む間も、現施設の雨漏りや空調の騒音など、必要な修繕は実施すべき。

議事 4：その他

特になし。

以上